

令和3年度入学試験問題（前期日程）

音楽理論

（中等教育教員養成課程 音楽専攻）

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に記入すること。
2. 解答紙には、必ず受験番号を記入すること。

令和3年度前期日程入学試験問題

問題訂正

◎科目名 音楽理論

6 ページ [6] (2) 3 行目 下線部を訂正

(誤) . . . 立した。 1934 年, アメリカ合衆国に . . .

(正) . . . 立した。 1933 年, アメリカ合衆国に . . .

[1] 次の楽譜を見て、以下の問に答えなさい。

System 1: A piano score in 3/4 time with a key signature of two flats (B-flat and E-flat). The first staff (treble clef) contains a melodic line with notes G4, A4, B-flat4, and A4. The second staff (bass clef) contains a bass line with notes G3, B-flat3, and G3. A circled '1' is placed near the B-flat4 note in the first staff. A bracket labeled '(ア)' spans the final two measures of the system.

System 2: Continuation of the piano score. The first staff has notes G4, A4, B-flat4, and A4. The second staff has notes G3, B-flat3, and G3. A circled '2' is placed above the B-flat4 note in the first staff. A circled '1' is placed below the B-flat3 note in the second staff. A bracket labeled '(b)' spans the final two measures of the system.

System 3: Continuation of the piano score. The first staff has notes G4, A4, B-flat4, and A4. The second staff has notes G3, B-flat3, and G3. A circled '3' is placed above the B-flat4 note in the first staff. A circled 'c' is placed below the B-flat3 note in the second staff. A bracket labeled '(c)' spans the final two measures of the system.

System 4: Continuation of the piano score. The first staff has notes G4, A4, B-flat4, and A4. The second staff has notes G3, B-flat3, and G3. A circled '4' is placed below the B-flat3 note in the second staff. A bracket labeled '(ウ)' spans the final two measures of the system.

(問 1) 楽譜中の①～④で示した2音間の音程をそれぞれ答えなさい。
ただし複音程は単音程に直して解答すること。

(問 2) 楽譜中の(a)～(d)で示した2音間の転回音程を、それぞれ答えなさい。ただし複音程は単音程に直して解答すること。

(問 3) 楽譜中の で囲んだ拍の和音(ア)～(ウ)が、それぞれ以下の度数で所属する調の音階の上行形を、その右側に指示する譜表上に、調号を用いて全音符で書きなさい。ただし、短調は和声短音階とする。

(ア) II_7 テノール譜表

(イ) VII_7 低音部譜表

(ウ) VI ソプラノ譜表

[2] 次の(1)～(4)に指定した種類の和音の基本形ができるように、それぞれの解答欄の該当箇所に全音符で音を書き足しなさい。ただしこのとき、解答欄の黒い音符が、各問に指定した和音構成音になるようにすること。また、黒い音符に変化記号を書き加えてはならないものとする。

(1) 短三和音 第5音

(2) 減三和音 第3音

(3) 属七の和音 根音

(4) 増三和音 第3音

[3] 次の楽譜について、以下の間に答えなさい。

↓

Largo elegantemente

The musical score is written for a horn in F. It consists of two staves of music. The first staff begins with a piano (*p*) dynamic and concludes with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The second staff starts with a mezzo-forte (*mf*) dynamic and ends with a forte (*f*) dynamic and a piano (*p*) sub-bow (*p sub.*) dynamic. The tempo and style are indicated as "Largo elegantemente". The score includes various musical notations such as slurs, accents, and breath marks.

(問 1) 次の各問の答えを解答欄に書きなさい。

- ①この曲の最高音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ②この曲の最低音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ③この曲の最高音と最低音でできる音程を答えなさい。ただし複音程は単音程に直して解答すること。
- ④この楽譜をこのままF管のイングリッシュ・ホルンで演奏すると、3小節目の最後の音は、実音で何の音が出ることになるか。その音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ⑤↓が指し示す単語の読みを書きなさい。

(問 2) この曲全体を、増4度低く、高音部譜表に調号を用いて移調しなさい。ただし記号「↓」は書き写さなくてよい。

- [4] 次に掲げる旋律は、何分の何拍子で、何調であると判断できるか。
それぞれの拍子と調を解答欄に書きなさい。



[5] 次の問に答えなさい。

(問 1) 次の各文の (①) ~ (⑤) の中に、最も適切な語を解答欄に書きなさい。

(1) 楽曲に設定された拍子を区切るために楽譜に書き入れる、五線に直角な線を (①) という。

(2) D.C.は (②) と読み、その位置から、楽曲の (③) に戻ることを指示している。

(3) ヴァイオリンやチェロは、弦を (④) でこすって音を出すことから擦弦楽器と呼ばれる。これに対して、ギターや三味線などは、弦をはじいて音を出すことから (⑤) 楽器と呼ばれる。

(問 2) 次のように記号で指定された楽譜がある場合、すべてを記号どおりに演奏すると何小節になるか。小節数を解答欄に答えなさい。

The image shows a musical score on three staves. The first staff has a treble clef and a key signature of one sharp (F#). It contains four measures. Above the second measure is a first ending symbol (a star with a circle), and above the fourth measure is a second ending symbol (a circle with a star). The second staff starts with a repeat sign (double bar line with dots) and contains four measures. Above the first measure is a bracket labeled '1.' indicating the first ending. The third staff starts with a bracket labeled '2.' indicating the second ending, followed by four measures. Above the third measure is a first ending symbol, and below the fourth measure is the marking 'D.S.' (Da Capo).

[6] 次の各文の説明にもっともよく当てはまる人物名を解答欄に書きなさい。

- (1) 1858 年にイタリアで生まれた作曲家である。彼の作曲したオペラは、現在でもオペラ劇場の中心的なレパートリーとして、世界的な人気を集めている。主要な作品には、《ラ・ボエーム》、《トスカ》、《蝶々夫人》などがある。最後の《トゥーランドット》を未完のまま残して、1924 年に亡くなった。
- (2) 1874 年にウィーンで生まれた。はじめ後期ロマン主義的な作風だったが、20 世紀に入って無調に転じ、そののち十二音技法を確立した。1934 年、アメリカ合衆国に亡命し、1951 年にロサンゼルスで世を去った。
- (3) 1843 年に生まれ、1907 年に亡くなった、ノルウェーの作曲家である。ライプツィヒ音楽院で学んだ経歴をもつが、のち帰国し、ノルウェーの民族音楽から影響を受け、国民楽派の作曲家として創作を行った。わが国では、イプセンの戯曲『ペール・ギュント』のための付随音楽や《ピアノ協奏曲イ短調》、ピアノ独奏のための《抒情小曲集》などが知られている。
- (4) 1810 年に生まれ、1849 年に亡くなった、ポーランドを代表する作曲家である。幼少期から音楽の優れた才能を示し、20 歳のとき、母国をあとにしてフランスのパリへ移り、この地を中心に活躍した。彼の作品の大部分はピアノ独奏曲であり、ポロネーズ、マズルカ、バラード、スケルツォ、ワルツなどの題名がつけられている。そのため、彼は「ピアノの詩人」と呼ばれることがある。こうした彼の音楽は、現在でもピアノ演奏会に欠かすことができない曲目となっており、高い人気を誇っている。

〔7〕 次の間に答えなさい。

(問 1) 以下の(1)～(3)の日本の音楽史上の出来事と、時代(時期)が一番近い出来事を説明している文を、ア～エの選択肢の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- (1) 三味線の母体となる琉球の三線が日本本土に入ってきた。
- (2) 世阿弥が『花伝書』をまとめた。
- (3) 武満徹の《ノヴェンバー・ステップス》が作曲された。

〈選択肢〉

- ア 東京オリンピックが開催された。
- イ ヴィヴァルディの《四季》が発表された。
- ウ 京都に金閣寺が建てられた。
- エ キリシト教が日本に伝来した。

(問 2) 能楽において通常用いられる楽器を、以下の選択肢の中から4種選びなさい。

〈選択肢〉

- | | | | |
|------|-------|------|------|
| ア 太鼓 | イ 神楽笛 | ウ 鞆鼓 | エ 尺八 |
| オ 小鼓 | カ 鉦 | キ 能管 | ク 大鼓 |

[8] 次の楽語の意味を解答欄に書きなさい。

- (1) Largo
- (2) Andantino
- (3) tempo primo
- (4) rit.
- (5) *mp*
- (6) *fp*
- (7) brillante
- (8) amabile
- (9) espressivo
- (10) allargando